

製品安全データシート

ETHHTLENE GLYCOL DIACETATE

作成 : 2018/1/22  
改訂 : 2022/12/1

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称

Ethylene glycol diacetate  
ジ酢酸エチレングリコール  
エチレングリコールジアセテート

会社名  
住所

ETERNIS FINE CHEMICALS UK LTD.  
Macclesfield Road, Leek Saffordshire UK T13 8LD

電話番号  
メールアドレス  
緊急連絡先番号

+44 (0) 1538 392180  
[sdsadvice@eternisfinechemicals.com](mailto:sdsadvice@eternisfinechemicals.com)  
+44 (0) 1273 289454

販売代理店  
住所:  
電話番号  
FAX  
メールアドレス  
HP

サンケミカル株式会社  
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング  
03-3661-6681  
03-3661-7055  
[yano@sun-chemical.co.jp](mailto:yano@sun-chemical.co.jp)  
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意

工業用プラスチック向け可塑剤

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類

物理化学的危険性: 分類できない  
健康に対する有害性: 分類できない  
環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分外	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル 無し

● 注意喚起語 無し

● 危険有害性情報 無し

● 注意書き

【安全対策】

換気の良い場所で取扱うこと。  
使用しない際は容器を密閉して保管すること。  
開封と取扱い時は注意をすること。  
元の容器に保管すること。  
蒸気、粒子を吸い込まないこと。  
混合機器の使用では、静電気が蓄積しないように気を付けること。  
緊急シャワーと目の洗浄場が、作業場の近くにあること。

【応急措置】

吸引した場合 新鮮な空気の場所に移動し、身体を休めること。

皮膚に付着した場合 直ぐに汚れた衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合 少なくとも10分間は眼を洗うこと。

飲み込んだ場合 口をゆすぎ、少量の飲み水を与える。意識のない患者に飲み水を与えない。無理に吐き出そうとしないこと。直ぐに医師の診断を受けること。

【保管】  
酸化剤から遠ざけて保管すること。

【廃棄】  
可能ならリサイクルをする。リサイクルが不可能な場合、適切な廃棄物処理場にて適切に処理を行うこと。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

ジ酢酸エチレングリコール

別名

ジアセトキシエチレン  
1,2 エタンジオールアセテート  
エチレンジ(アセテート)

REACH登録番号

01-2119969454-26-0000

化学特性

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

組成	CAS	EC	化審法	含有(%)	CLP分類	備考
ジ酢酸エチレングリコール	111-55-7	203-881-1	2-665	98	無し	
エチレングリコールモノアセテート	542-59-6	208-821-8	2-665、2-738	1~2.5%	H318	
酢酸	64-19-7	200-580-7	2-688	<0.1	H226,314,318	0.03%ほど

▲ 項目4 応急処置

吸引した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、身体を休めること。

皮膚に付着した場合 直ぐに汚れた衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合 少なくとも10分間は眼を洗うこと。

飲み込んだ場合 口をゆすぎ、少量の飲み水を与える。意識のない患者に飲み水を与えない。無理に吐き出そうとしないこと。直ぐに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護  
医師に対する特別な注意事項

飲み込んだ場合等、大量に曝露した際は医師の診断を受けること。  
SDSを持参すること。

項目5 火災時の措置

消火剤

炭酸ガス、泡消火薬剤、粉末消火剤、水噴霧

使ってはならない消火剤

棒状水(火災が広がる)

火災時の措置に関する  
特有の危険有害性

自動呼吸機器を着用すること。  
火災時は臭いの強い煙が発生する。

特有の消火方法	自動呼吸機器を着用すること。 火災時は臭いの強い煙が発生する。 呼吸器の保護具。避難場所の確保。水噴霧での冷却 火災が消える迄容器を冷やす。水雲霧で蒸気を散らす。
消火を行う者の保護	保護具を着用すること。呼吸器及び適切な保護具を着用すること。

#### 項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	化学品用の全身を覆う保護具、長靴、ブーツ、PVCの手袋、 顔の覆う保護具
環境に対する注意事項	僅かに水に溶ける。水生環境に毒性は起きにくい。 多量の放出は危険。 多量に環境に放出した場合、省庁保健所に相談すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	可能なら、こぼれた物質を回収する。 砂や不活性物質で、吸収し、安全な場所に移す。 吸収材か排水口プロテクターで、排水されないようにすること。 吸収と回収した後、大量の水で、汚れた跡を洗い流すこと。 吸収回収にした物質は密閉容器に入れて処分すること。
二次災害の防止策	

#### ▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。
技術的対策 (局所排気、全体換気)	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	換気の良い場所で取扱うこと。 使用しない際は容器を密閉して保管すること。 開封と取扱い時は注意をすること。 元の容器に保管すること。 蒸気、粒子を吸い込まないこと。 混合機器の使用では、静電気が蓄積しないように気を付けること。 緊急シャワーと眼の洗浄場が、作業場の近くにあること。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後は手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	酸化剤から遠ざけて保管すること。 法令条例を遵守して保管すること。 元の容器で保管すること。 換気の良い、乾燥した場所で保管すること。 直射日光、火気を避ける。
安全な保管保管包装材料	316ステンレス鋼 容器の留め具 パーフルフルオロエラストマー(Kalrez社製) ガスケット(グラファイト=316ステンレス鋼かアスベストフリーのアラミド繊維) 容器は保管量比の110%になっている状態にする。 100kg保管時には、容器の容量が110kgの状態であること。 保管規制を遵守すること。 本商品は水があると、コンクリートの表面を汚す恐れがある。

---

**▲ 項目8 暴露防止及び保護措置**

## 許容濃度

日本産業衛生学会(2005年版)  
ACGIH(2005年)

## DNEL

## 推定無影響レベル

職場	吸引	長期	全体効果	10.72 mg/m <sup>3</sup>
職場	経皮	長期	全体効果	3.04 mg/kg/day
一般	吸引	長期	全体効果	2.64 mg/m <sup>3</sup>
一般	経皮	長期	全体効果	1.52 mg/kg/day
一般	経口	長期	全体効果	1.52 mg/kg/day

## PNEC

## 無影響濃度

淡水	0.04 mg/l
海水	0.004 mg/l
標準	10 mg/l
堆積物(淡水)	0.174 mg/kg
堆積物(海水)	0.017 mg/kg
土壌	0.019 mg/kg

## 設備対策

霧状での使用の場合、換気が必要。  
十分な換気状況が整っていること。

## 保護具

呼吸用保護具	霧状で使用時は必要。
手の保護具	PVC製の手の保護具
眼の保護具	安全ゴーグルか顔を覆う保護具
皮膚及び身体の保護具	通常の全身保護具。皮膚と化学品に接触を防ぐもの

## 特別な注意事項

---

**項目9 物理的及び化学的性質**

物理的状态	液体
色	無色
臭い	かすかな匂い
融点・凝固点	-78°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	190.7°C @101.3kPa OECD103
可燃性	非該当
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	1.6%~8.4%
引火点	88°C(ASTM D93) 密閉
自然発火点	482°C
分解温度	190.7°C @101.3kPa OECD103
pH	
動粘性率	
溶解度	171.1 g/l water (20°C) OECD 105
n-オクタノール/水分配係数	Log Pow:0.1 OECD117
蒸気圧	22.68 Pa(20°C)
比重(相対密度)	1.105 @20°C OECD105
蒸気密度	データ無し
蒸発速度	データ無し

## その他データ

粘度(粘性率)	2.57 cSt@20°C
電気伝導性	0.029 μS/cm
ガスグループと温度クラス	IIB Class T1

---

● 項目10 安定性及び反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性

水に触れると酸とアルコールに分解する。  
170℃までは安定  
強酸化剤と反応

避けるべき条件  
(静電放電、衝撃、振動など)

熱。過度に積み重ねて、長期に熱にあてると容器が爆発する。

混触危険物質  
危険有害な分解生成物  
その他

強酸化剤  
加水分解が起きて、エチレングリコールと酢酸になる。

★ 項目11 有害情報  
急性毒性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
LD50/経口		ラット	6860mg/kg	-	
LD50/経皮	OECD402	ラビット	>2000mg/kg	-	
LC50/吸引蒸気	OECD403	ラット	845mg/l	8h	

皮膚腐食性及び皮膚刺激性  
刺激性はない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
刺激なし	OECD405	ラビット	角膜スコア:0 虹彩スコア:0 結膜スコア:0 結膜浮腫スコア:0	0.1ml/72h	

呼吸器感作性又は皮膚感作性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
非感作性	ビューラー試験	モルモット			

生殖細胞変異性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
変異性陰性	OECD476				読み取り法

発がん性

IARCに該当する物質はない。

生殖毒性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
催奇形性/NOAEL	OECD421	ラット	>1000mg/kg/day		
発達毒性/NOAEL	OECD414	ラット	>1000mg/kg/day		

特定標的臓器毒性、反復曝露

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
NOAEL	OECD408	ラット オス	>300mg/kg (bw/kg)	-	

NOAEL=無有害作用量

誤嚥有害性

データ無し

その他

眼に触れると	痛み、赤み、涙
皮膚に触れると	赤み
吸引すると	鼻、喉、呼吸器に刺激がある
飲み込むと	頭痛、嘔吐、下痢
潜在慢性効	無し

項目12 環境影響情報

生態毒性

結果/曝露経路	試験方法	種	投与量	曝露	備考
LC50	OECD test 203	フィッシュ	28.5mg/l	96h	ファットヘッド ミノー
NOEC	OECD203	フィッシュ	40.45mg/l	96h	ファットヘッド ミノー
EC50	OECD test 202	大ミジンコ	> 116.3mg/l	48h	-
EC50	OECD test 201	藻	> 119.86mg/l 成長率、 幾何学的手段	72h	プセウドキルクネリエラ
NOEC	OECD test 201	藻	> 119.86mg/l 成長率、 幾何学的手段	72h	プセウドキルクネリエラ
NOEC	OECD test 301C	活性下水 汚泥	> 100mg/l	28d	読み取り法 トリエチレン グリコールジ アセテート

NOEC=無影響濃度

残留性・分解性

OECD301C test(読み取り法)にて、トリエチルグリコールジアセテートは28日後で、60%(酸素消費)の生物分解をしめた。容易に分解する。

光変換  
安定性(加水分解)

DT50: 102.4h  
pH7 半減期 152.39日 @25°C  
計算法

生分解性

水 60%分解 28日 OECF301C 読み取り法

生体蓄積性

生物濃縮要因は1.2と概算され、生体蓄積は重要ではない。

土壤中の移動性  
吸着脱着係数

利用可能なデータ無し  
土壌 Log Koc: 1 @25°C 計算法

ヘンリーの法則

0.06 Pa m<sup>3</sup>/mol@25°C 計算法

オゾン層への有害性  
他の有害影響

水生生物に有害。  
この商品は水生生物に悪影響ではあるが、分解しやすい。  
環境に対して、急性と慢性の毒性はない。

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物

可能ならリサイクルをする。リサイクルが不可能な場合、適切な廃棄物処理場にて適切に処理を行うこと。

汚染容器及び包装

状態が良ければ、鉄ドラムは清潔にして、再使用が可能です。  
リサイクルとしてスクラップ金属にできます。

状態が良く、残留臭が気にならない範囲でしたら、IBCは清潔にして、再使用が可能です。再使用が難しい場合、清掃した後、砕いて、許可があれば埋め立てるか、グラニューールとして再使用できます。IBCのケージは再使用できます。

項目14 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当)	該当 Y類
MARPOLによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)	非該当
国内規制 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	衝撃を与えない。

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

安衛法	酢酸は通知表示対象物質ではあるが基準値に満たないため、非該当
消防法	消防法 危険物第4類第3石油類 非水溶性液体(2,000L)
化審法	2-665 既存化学物質

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報  
引用文献

オリジナルMSDS(2016年10月28日版)  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE  
職場のあんぜんサイト  
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用を目的としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くて良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色付けはGHS対応ガイドライン準拠 (2012年6月 日化協)			(但し、ラベルに全て載せる必要はない)